

大学発・技術PRレポート

1. 研究室概要

| | | | | |
|---------|---|--------|---------------------------|-----------|
| 大学名 | 電気通信大学 | | 研究者 | 由良 憲二 |
| | | | 職位 | 教授 |
| 研究領域 | 製品の製造からリサイクルまでの環境管理 | | 窓口担当 | 産学官連携センター |
| 研究キーワード | ライフサイクルアセスメント、プロダクトライフサイクルマネジメント、リサイクル計画最適化 | | | |
| 住所 | 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 | | | |
| 電話 | 042-443-5780 | E-mail | onestop@sangaku.uec.ac.jp | |
| FAX | 042-443-5108 | URL | — | |

2. 技術PR事項

『工業製品の循環型生産システムを実現する』

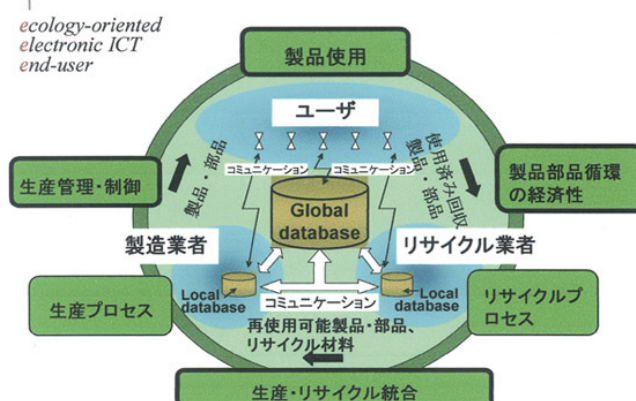
1. 概要

[製造業者→ディーラー→消費者→リサイクル業者] という製品が辿る全ての段階で環境にやさしく、経済的・効率的な方法を見出す研究を行っています。

<研究の2本柱>

- ① 製品使用時の環境負荷削減手法の研究
 - … 製品の寿命が終わるまでの一貫サービスを目的とした最適化の計算
 - ② 回収物を有効活用する最適生産理論の研究
 - … 回収製品をどうすれば最も有効に再利用できるかを判断する手法の開発
- 消費者に製品の保守・管理等の情報を提供することが賢明な消費行動をもたらします。
- 循環型生産システムの情報製造業者やリサイクル業者に共有されることで、リサイクル方法やリサイクルを考えた製品製造の研究に繋がり、環境負荷の低減という成果に還元されます。

e³ - プロダクトライフサイクルマネジメント



©電気通信大学環境調和型ライフサイクル研究ステーション

環境配慮型プロダクトライフサイクルマネジメント

※ 環境負荷を低減しつつ持続的な発展を可能とする、循環型生産システムの理論と実践手法の構築を図ります。

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 環境へ配慮した製品の製造・販売ストラテジを検討している企業や、ユーザーサービスの向上やリサイクルシステム作りを目指している組織との実践的手法の共同研究を希望いたします。

3. 特記事項

● 代表論文:

由良、環境指向型生産システムに関する一考察、日本情報経営学会誌、Vol.32、No.4、pp.11-16 (2012)。